

## 施策の柱5.3 学校における環境教育の充実

### 目標19

各学校と地域との連携による環境教育を充実させ、地域資源を活用した環境学習の回数を増やしていくとともに、スクールエコアクションの導入による各学校での環境活動を継続的に実践していきます。

【目標担当課：環境政策課】

### 目標19の進捗状況

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
地域資源を活用した環境学習(※)の回数	83回	88回	83回	97回
地域資源を活用した環境学習の実施校数 (市立小中学校総数：32校)	31校	30校	29校	30校
こどもエコクラブ登録クラブ数	8クラブ	5クラブ	5クラブ	3クラブ

※スクールエコアクションの報告から①地域の自然環境を活用した授業・取り組み、②環境に関する施設見学等の取り組み、③地域の関係団体等の協力のもとに行われた取り組み、④地域の美化に関する取り組みを数えています。

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
スクールエコアクション導入校	市立全小中学校 (32校)			

### 目標の進捗状況に対する中間評価（平成23～26年度）

評価	順調に進んでいる
<p>地域資源を活用した環境学習の回数や、地域資源を活用した環境学習の実施校数に若干の増減が見られるものの、平成23年度から市内公立小中学校全校にスクールエコアクションが導入され、各校が地域の特色を生かした取り組みを継続して展開するなど確実に定着してきています。</p> <p>また、各校の取り組みにおける情報発信あるいは情報共有の場として、「ちがさき環境フェア」の中で「スクールエコアクション発表会」が実現し、その発表会が確実に生徒の学習につながっていることを踏まえ、「順調に進んでいる」と判断できます。</p>	

### 目標の妥当性の検証と見直しの必要性

見直し	不要
<p>スクールエコアクションが確実に学校現場に根付いてきていること、また、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の活用などさらなる発展を期待できる可能性もあることから、見直しは不要と考えています。</p>	

## トピックス

### 子どもたちによる環境活動 —スクールエコアクション—

学校版環境マネジメントシステム「スクールエコアクション」は、児童・生徒、教員の皆さんが、学校生活の中で自発的な環境活動に取り組むための仕組みです。学期の始めに、①環境についての学習、②電気、水、物を大切に使う活動、③捨てるごみを減らす活動、④その他の4項目について活動内容を決めて実施します。

#### これまでの学校の取り組み(一例)



身近な地域の自然観察  
(鶴が台中学校)



地域の清掃活動  
(鶴嶺中学校)



エコキャップ回収  
(松浪中学校)



地域の落書き消し  
(汐見台小学校)



取り組み発表  
(北陽中学校、ちがさき環境フェア2014)



取り組み発表  
(萩園中学校、ちがさき環境フェア2014)

**重点施策36 地域と連携した環境教育**  
**37 学校における取り組みの支援**

**■施策の概要**

- ・学校における環境教育の支援を目的として、学校と地域を結びつける情報の提供を可能にする仕組みを構築・運用していきます。
- ・市内の環境のモニタリングと子どもたちの意識啓発を複合的に実現する仕組みへの展開を図っていきます。
- ・市内小中学校における環境教育の推進に向け、学校版環境マネジメントシステム(スクールエコアクション)を導入・運用し学校生活での環境活動の実践と浸透のための仕組みを確立します。
- ・児童や生徒に現在の環境の状況、市民活動団体の活動内容、事業者や市の取り組みなどを紹介し、環境への関心の向上と日常生活への反映を図ります。

**■平成26年度の取り組み**

**①環境教育の充実に向けた情報提供の仕組みの構築・運用**

事業名	取り組み結果	担当課
環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」掲載情報の随時更新	・「環境学習News」の発行や「里山はっけん隊!」、「こどもエコクラブ交流会」、「スクールエコアクション発表会」などの実施に併せて適宜内容の更新を図りました。	環境政策課
学校関係者への支援サイト周知	・市立小中学校の総合学習の担当者宛に教員向け環境情報を載せた「環境学習News」を送付し、環境学習支援サイト「ちがさきエコスクール」の掲載内容等を周知しました。	

**②学校の環境教育に対する支援等**

事業名	取り組み結果	担当課
自然観察会等への支援	・小中学校や公民館等と連携しながら、茅ヶ崎の地形、茅ヶ崎の川や谷戸、自然環境と生物、茅ヶ崎で記録されている生物、変わりゆく身近な自然などについて観察会等を実施しました。座学を含め茅ヶ崎里山公園、小出川、千ノ川において計8回実施し、1,191人が参加しました。 ・千ノ川から採水し、簡易測定キット等により水質を調査し、調査結果を班ごとにまとめ、採水や分析時に気付いたこと等を含め発表し、生徒達の環境に対する意識の向上や体験を通して得られる行動力に寄与しました。1回実施し、17人が参加しました。 ・5団体、1中学校に水質パックテストの供与を行い、活動支援を行いました。	環境保全課 景観みどり課
学校関係者への支援	・教員向け環境情報を載せた「環境学習News」を発行し、簡単に総合学習の時間などに利用できるツールを市立小中学校の総合学習の担当者へ周知しました。 ・「環境学習News」には市内の自然の中でも特に多様な自然環境が残る7か所のコア地域を中心に、自然環境の四季をとおして植物や昆虫等を数多く紹介している動画「茅ヶ崎の四季と自然」の紹介や、市職員が行う地球温暖化や水環境、ごみ・資源物、自然、農業などの出前講座について掲載し周知を行いました。	環境政策課

**③スクールエコアクションの導入・運用と学校生活での環境活動の実践**

事業名	取り組み結果	担当課
スクールエコアクションに基づく取り組みの促進	・市内の小中学校で、地域の特色を活かしながら着実に取り組みを実施しています。 ※詳細は市ホームページをご参照ください。	環境政策課 学校教育指導課
スクールエコアクション発表会の実施と、学校訪問等を通じた発表内容の充実に向けた支援	・「ちがさき環境フェア2014」において、北陽中学校、萩園中学校の生徒による発表会を行いました。 ・発表を終えた生徒からは、「お互いの発表を聞き、改めて自校での取り組みをさらに推進したいと思った」、「自校で行っていない取り組みに興味が出た」などの感想がありました。	

#### ④児童や生徒の環境への関心の向上に向けた情報提供

事業名	取り組み結果	担当課
出前授業の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・17回(環境保全課1回、景観みどり課8回、資源循環課8回)</li> <li>・環境保全課が行った「身近な河川の水質を調べよう」では、千ノ川から採水し、簡易測定キット等により水質を調査し、調査結果を班ごとにまとめ、採水や分析時に気付いたこと等を含め発表しました(17名参加)。</li> <li>・景観みどり課が行った「自然観察」では、地形や環境、季節、農業、生きもの同士や人とのつながりなどを関連づけて説明を行いました。</li> <li>・資源循環課が行った「茅ヶ崎市のごみと資源物の分別方法やごみ収集車バッカー君の仕組みを学ぼう!」では、市内小学4年生を対象にごみ収集車「バッカー君」を間近で披露しながらごみと資源物の分け方・出し方や資源物の再資源化について説明を行いました。</li> </ul>	環境保全課 景観みどり課 資源循環課

#### ■平成26年度予算執行状況

事業名	26年度予算額	26年度決算額	(参考)25年度決算額	担当課
スクールエコアクション発表会	30千円	30千円	30千円	環境政策課
合計	30千円	30千円	30千円	

#### ■成果・課題と評価

成果	評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールエコアクションに基づいた市内各小中学校での特色ある取り組みや、「ちがさき環境フェア2014」での発表会、取り組みの情報発信と共有については予定どおり取り組みを進めることができました。</li> <li>・特に「スクールエコアクション発表会」では生徒自身がパワーポイントなどで資料を作り、熱心に環境への取り組みを発表する様子が見られ、発表会を通じて他のスキルアップも図れる学習効果の高い取り組みとなりました。</li> <li>・「ちがさきエコスクール」を通じて学校での環境学習に役立つ情報を継続的に提供することができました。</li> <li>・市職員だけでなく、地域で活動する市民団体等の方々に自然観察会の実施などご協力をいただきながら、学校における環境教育の充実を図ることができました。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">B</p> <p>A: 極めて順調に進んでいる            B: おおむね順調に進んでいる            C: ある程度進んでいる            D: あまり進んでいない            E: 積極的な取り組みが必要            -: 取り組みなし(評価不能)</p>
<p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場で支援サイト「ちがさきエコスクール」をより活用していただけるよう、内容を充実させていくとともに周知を強化していく必要があります。</li> <li>・出前授業については学校教員から担当課や市民団体等へ直接依頼し実施するケースが多く、双方の担当者が変更した場合に継続性の問題が生じる可能性があります。情報の一元化を進め、状況が変化しても一定の水準で出前授業を提供できる体制を整えていく必要があります。</li> </ul>	



環境学習支援サイト  
「ちがさきエコスクール」



茅ヶ崎里山公園での  
自然観察会  
(鶴が台中学校出前授業)



水質調査  
(円蔵中学校  
出前授業)